

平成24年度ユネスコパートナーシップ事業

ユネスコスクール地域交流会 in 多摩

校内体制 分科会

(学校全体で取り組む仕組みづくりについて)

平成24年11月23日パルテノン多摩

江東区立八名川小学校長 手島利夫

**教育課程の編成から、PTA・地域を巻き込み、
パワーアップ交流会の開催まで……
ESDを踏まえた学校づくりのノウハウをお伝え
したいと思っています。**

校内体制づくりで大切なこと

- 1、校長がESDで学校づくりをするという覚悟を決めること。**
- 2、教育課程にESDを明確に位置づける。**
- 3、校内研究と重ね、組織的・計画的に研究を進めること。**
- 4、学年毎の年間指導計画(New！ESDカレンダー)を作成する。**
- 5、單元ごとの展開表を問題解決的に
(子どもの学びに火をつける指導計画を作れること)**
- 6、実践データの共有(年度ごと、その中に学年毎のフォルダを作成)**
- 7、保護者の理解が学校を変える(教育方針の説明)**
- 8、校内の実践交流から地域の交流へ(相互交流が校内を活性化する)
(ACCUを通じてユネスコスクール公式ホームページも活用しよう。)**

1、校長がESDで学校づくりをするという

覚悟を決めること。

- ・言われてやっているうちは本物にはならない！**

（校長自身の問題解決意識が重要）

2、教育課程に

ESDを明確に位置づける。

1 教育方針

(1) 教育目標及び教育目標を達成するための基本方針

教育目標	人間尊重の精神を培い、広く国際社会において信頼と尊敬が得られる人間の育成を目指し、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、心身ともに健康で確かな判断力を持ち、道徳性にみちた自主的、主体的な児童の育成を目指して次の目標を設定する。 ◎ 自ら考え進んで学ぶ子 ○ 思いやりのある子 ○ 体をきたえ命を大切にする子
教育目標を達成するための基本方針	○ <u>全教育課程を通じて「生きる力」の育成を重視し、持続可能な社会の担い手を育む教育（ESD）の視点から、環境教育・国際理解教育・人権教育などを総合的にとらえ、各教科、領域の学習が横断的、総合的に進むように工夫する。</u> ○ 全教育活動を通して、人間尊重の精神を培い、互いの人格を尊重して行動できる児童を育てる。そのために、道徳の時間を確実に確保し充実させると共に、児童の日常生活を通して相手の立場に立って行動する態度を育てる。 ○ 児童一人一人の学習状況を把握し、基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせると同時に、考える力や創造力を培う。また、問題解決型の学習を進め自ら学ぶ力を育てると共に、俳句を通して児童の創造力や日本語力を育てる。 ○ 家庭や地域との連携を通し、生活習慣の定着を図るとともに、食育や体力づくりの運動を推進し、心身の健康の確立に努める。 ○ 児童理解に努め、いじめや不登校をなくし、児童が明るく生き生きと生活できる環境づくりを行う。 ○ 心の教育を重視し、園児やお年寄り、異年齢集団での活動を大切にすることによって、社会性を育てる。 ○ 教師の授業力を向上させ、毎日の授業を充実させるために、実践交流や研修の日常化を図る。 ○ 地域と共に歩む学校づくりを推進するために、保護者や地域の協力を求める。また、地域行事への参加や共同事業に積極的に取り組み、地域と連携しながら各団体や保護者、地域の力を学校教育に結集させることを目指す。

(2) 特色ある教育活動

	○ <u>ユネスコスクールとしてESDを踏まえた教育の充実と成果の発信を図る。</u> ○ 個に応じた指導を進め、児童一人ひとりの学力と体力の向上を図る。 ○ 学習塾と連携し、個への指導の充実と、論理的思考の育成を図る。 ○ 放課後クラブと連携し、夏季・冬季休業中に全日学習教室を実施する。
--	---

校内研究の進め方

3、校内研究と重ね、組織的・計画的に研究を進めること。

**4、学年毎の年間指導計画(New！ESDカレンダー)を
作成する。**

**5、単元ごとに問題解決的な展開表を作成する。
(子どもの学びに火をつける指導計画を作れる教師)**

環境の教育

国際的な協力

環境の問題は自分たちだけが取り組んでもだめです。国際的な協力のシステムが必要です。

国際的に協力するためには、人として、互いの命や人権を大切にする気持ちが元になります。

ですから、ESDカレンダーでは4つの視点で、教科・領域の学びをつなぎます。

お互いを尊重する気持ちが、協力してより良い世界を創る元になります。

お互いの国の文化や生き方を尊重できなくては、協力なんてできません。自国の文化への誇りも重要です。

多文化の理解

人権・命の教育

第 6 学年 ESDカレンダー

江東区立八名川小学校

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語			ようこそ、わたしの たちの町へ		とんぼの俳 句を比べる		平和につい て考える					
算数												
理科			動物に食べら れる植物			電気の性質とはたらき				生物と地球の環境		
社会					江戸の文化をつ くりあげた人々		長く続いた戦争 と人々の暮らし		私たちの生活と政治	世界の中の日本		
総合			江戸・深川 の歴史を調べ、 この町を語ろう			太陽がくれたエネルギーとわ たしたちのくらし			世界の平和と日本の役割			
英語												
特活										八名川まつり		
道徳			長生き ばんざい	地球があぶない		古きよき心			同じ地球の子ども たち	世界が100人の 村だったら		
音楽							日本の音楽を味わおう					
図工										外国の友達の教室から		
体育			病原体と体の抵抗力				喫煙・飲酒・薬物					
家庭							日常の食事と調理 の基礎					
			環境の教育		多文化の理解		人権・命の教育		国際的な協力			

総合的な学習の時間 第6学年 指導計画

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

単元名「江戸・深川の歴史を調べ、この町を語ろう。」(21時間)

【ねらい】
自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、地域に対する誇りや愛着を育てていく。

【課題の把握】
○歴史小説家の牧さんの話をきっかけに、自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、「自分たちも様々な切り口からこの町の歴史や文化を語れるようになるう」という課題意識を明確にする。

【問題追究】
○「木場の移り変わり」「江戸時代から明治にかけての水上交通」「神明宮の祭りと深川の発展」「食からさぐる深川の暮らし」等のテーマ毎にグループを作り、調べ・発表の準備をする。

【まとめ・吟味する】
○調べたことをもとに、グループでまとめ、5年生や家族・地域の方にポスターセッションで発表する。

【発 展】
○自分や友達の発表をもとに、興味もったことについて、夏休みの研究課題等に広げる。

【地域人材・関係機関】

- 歴史小説家 牧先生
- 地域の方々 中村さん、小町さん
- 芭蕉記念館、番所橋資料館、和船友の会

単元名「太陽がくれたエネルギーとわたしたちの暮らし」(11時間)

【ねらい】
有限な化石燃料について知り、将来を考えたエネルギーの使い方を考えていく。

【課題の把握】
○将来、化石燃料が枯渇することを知り、30年後、50年後の自分や自分の子孫たちのくらしの課題について話し合う。
○自然の力を利用してエネルギーを作り出せることを学び、自ら考え行動する力を養う。

【問題追究】
○太陽がくれたエネルギーを私たちの暮らしにどのように取り入れ、どのように活用していくか目を向け直す。

【まとめ・吟味する】
○調べたことをもとにこれからのエネルギーの供給と私たちの暮らしについて考える。

【発 展】
○。風力発電、地熱発電など、自然の力を利用してエネルギーを得る方法を知り、日常生活に生かそうとする。

【地域人材・関係機関】

- 東京ガス

単元名「世界の平和と日本の役割」(21時間)

【ねらい】
国際社会と日本の関係について調べ、これからの日本のあり方について考えていく。

【課題の把握】
○新聞やニュース、写真、資料などから日本の国際交流や国際協力の様子を知る。
○平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きに関心をもたせる。
○ゲストティチャーの話から世界の情勢を知る。

【問題追究】
○平和な国際社会を目指して、日本が国際社会の中で重要な役割を果たしていることについて調べる。

【まとめ・吟味する】
○調べたことをもとにこれからの日本のありかたについて考える。

【発 展】
○世界の国々の人々とともに生きていくためには何が重要なのか自分なりに考えたことを発表する。

【地域人材・関係機関】

- 国際理解支援協会講師

【俳句づくり】 朝の俳句づくり（毎週金曜・朝15分）＋句会（月1日）・・・年間3冊の全校児童句集を作成

中央教育審議会答申
「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び
特別支援学校の学習指導要領等の改訂について」
平成20年1月17日

「生きる力」

「理念」は変わりません
「学習指導要領」が変わります

学習指導要領改訂に向けた
中央教育審議会答申

Q & A

① 「生きる力」をほくくむという理念は、新しい学習指導要領においても変わりません。今回の改訂では、この「生きる力」の理念の実現のために、これまでの学校指導等での課題を踏まえ、指導要領改訂での具体的な手立てを講ずることを図ります。

② 「ゆとり教育」から「詰め込み教育」へ転換するのですか。
「詰め込み教育」への転換ではありません。授業時間の増加は必要ですが、授業内容を増やすこととを主な目的とするものではありません。また、子どもたちが学習にじっくりと意図的な時間を確保するという考え方は今回の改訂でも重要ですが、「ゆとり」や「詰め込み」ということではなく、基礎的・基本的な知識・技能の蓄積や定着とこれらを活用するための資質や能力の育成の両輪として取り組むことが必要です。

③ なぜ授業時間の確保が必要なのでしょうか。
子どもたちがさまざまな内容の確かな理解を促すための繰り返し学習（学年間での段階学習など）、知識・技能を応用する学習（観察・実験やグループ作成、施設訪問を行う時間など）を充実させるためです。全国平均の学習状況調査の結果も踏まえ、このような学習のための時間を確保し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等が伸びることを目指します。

④ 新しい学習指導要領を効果的に実施するためには、教育条件の整備が必要ではないでしょうか。
「生きる力」をほくくむという理念を実現するためには、教師が子どもと向き合う時間を確保することが必要です。このため、教員免許の取得や教員人材の任用、地域全体で学校を支える体制の構築が重要ですが、また、教科書の充実等の条件整備を進める必要があります。

持続可能な発展のための教育（ESD）を
学校教育でどう進めるか？！

ESDの学習指導過程を 構想し展開するために 必要な枠組み




国立教育政策研究所 教育課程研究センター

「基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学習、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」

「持続可能な社会づくりに関わる課題を見いだし、それらを解決するために必要な資質や能力を身に付けること」

問題解決的な学習

生きる力 ≡ ESDで育てたい力

児童が自ら学ぶ、学習の進め方

(故・古川清行先生から学んだ問題解決型学習)

事実との出あい

問題意識の集約化

学習問題を明確化する

学習計画を立てる

追究する

まとめ・吟味する

発展
(実行・参加・働きかけ等)

課題把握

問題追究

考察まとめ

発展

問題解決的な単元展開

6. 指導計画 第6学年 総合的な学習の時間

単元名「江戸・深川の歴史を調べ、この町を知ろう」 全21時間

学びに火をつける

調べる

まとめる

つたえ合う

問題に気づかせる

学習活動 牧先生の話を聞いたり、中川船番所資料館に見学に行ったり、深川江戸資料館についてビデオを見てから見学に行ったりして、深川について事実認識を深める。

- ・小名木川の開削によって深川の土地ができた。
- ・明暦の大火を機に江戸の町が拡大し深川が発展した。
- ・小名木川は中川、利根川につながり、関東一円と江戸を結ぶ重要な水上交通だった。
- ・町の発展に伴い、商店、船宿、表店、屋台など、下町の暮らしが豊かに展開するようになった。

留意点 自分や身近な人々の暮らしと深川を結びつけて考える。

火をつける

学習活動 興味をもったことを発表しあい、江戸前寿司に目をつけた場合を例に、調べ方についてサンプル学習を行い、調査・発表までの意欲を高め、見通しを持たせる。

【児童が興味をもった事柄】

- ① 深川でとれる魚と料理、江戸前の魚と四季
- ② 深川の祭りや富岡八幡宮、木場角乗りと歴史
- ③ 江戸の食べ物と水路 等

留意点 資料だけでなく人との出会いや関わりを大切に、疑問力、予想力、質問力を発揮すること。

テーマを決める

学習活動 自分が町をどんな視点で（切り口で）調べたいか、発表をする。「深川の町の良さ、素晴らしさという視点で町を見直す」ことを、中間発表を通して質問し、各自の主題や調査方法、見通し等を、互いに助言し合うことで深まりを持たせる。

計画する

学習活動

- 調査予定を立てる。
- 調べる内容が関係する者同士でグループを作る。

留意点

- 5年生への発表を意識した調査・まとめ計画を立てる。

調べる

学習活動

中間発表で出た質問や疑問等を振り返り、一層明確になった自分たちの問題を調べる。

- ・調べた事柄について資料を使い、分かりやすい発表を意識した準備をする。

留意点

- ・あらかじめ用意した資料や話す内容を順序よく話せるようにする。
- ・一人の課題をみんなで共有し、質問し合い、確かめ合って発展的な調査に繋げる。
- ・質疑応答で得た新しい疑問や考えが深まったものについてメモがとれるようにする。

- ・隅田川を中心に散策し、確を調べ、歴史的な事実を知る。

留意点

隅田川に大型船が停泊されていたことや、新大橋が開東大震災で多くの被災者の命を救ったことなど歴史的な事実をつかめるようにする。

- ・江戸時代に使われていた船や、和竿の歴史、江戸前の意味などを知る。

留意点

和船の説明を受けたり、漕ぎ方を教わったりしながら、当時の船の特徴や人々の暮らしぶりに興味をもてるようにする。

まとめる・練り直す

学習活動

調査した事柄について、写真や図などにまとめ、深川の良さ、素晴らしさがわかる資料づくりをして、5年生に向けて、地域の歴史について発表会をする。

T:自分が調べたことを相手にわかりやすく伝えるために、どんな工夫が必要だろうか。

- C: 広く調べてから、一つひとつを掘り下げてみよう。
- C: グラフや写真を入れると分かりやすいな。
- C: 資料を見て話すだけでなく、聞いてくれる人に自分の言葉で語りかけるように話す。
- C: 質問や分からないことがあったら、すぐに尋ねてもらい、答えるようにする。

留意点

- ・調査したテーマごとのワークショップを開き、研究の成果を異学年や参観者にわかりやすく説明させる。
- ・国語科「ようこそわたしたちの町へ」の学習を活かす。
- ・時代小説家の牧秀彦さんにも発表をきいてもらい、コメントをもらう。

評価 分かりやすく表現する力



⑤ 江東区和船の会の協力での船体験

つたえ合う・取り組む

学習活動

自分たちの研究発表から生まれた考えをさらに広げていくためにどのような働きかけがあるかを考える。

C: 同窓会給食で同窓生に話をしよう。

C: 俳句の学習に繋げていこう。

留意点

- ・ユネスコスクール全国大会、さかなクンの授業ともつなげ、海から環境に広げていく。

【地域との連携】

- ・牧秀彦氏（時代小説家）
- ・深川江戸資料館の解説員
- ・中川船番所史流儀の解説員

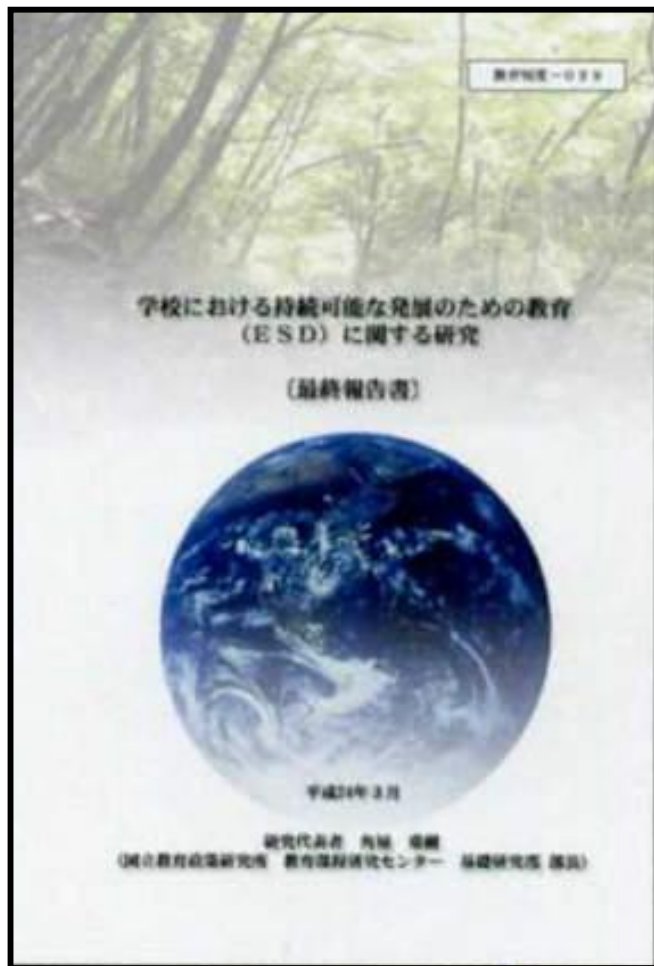
評価 実生活に活かす力



① 時代小説家 牧秀彦先生による動機づけ



② 江戸前の海産物や労働者の多い町の特産



ESDの視点に立った学習指導で 重視する能力・態度(例)

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的, 総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりを尊重する態度
- ⑦ 進んで参加する態度

国立教育政策研究所

「持続可能な発展のための教育(ESD)を
学校でどのように進めるか?!」より

育てたい力を明確にし、学習過程に位置づけた 評価規準の作成

学習過程	問題解決的な学習で育てたい力 (ESDで育てたい力)	ESDで育てたい力		
		1・2年	3・4年	5・6年
学びに.. 火をつける..	問題を見出す力.. 〔批判的に思考判断する力.. コミュニケーションを行う力..〕	① 自分のやりたいことを決める。	① 学んだことから、自分の興味・関心をもとに問題を見出し、その理由が言える。	① 学んだことをもとに、誰もが大切だと感じる問題を見出し、それを整理することができる。
調べる..	計画を立てる力.. 〔多面的・総合的に考える力..〕	① 自分が立てためあてをもとに活動をする。	① 解決への見通しをもち、活動する。	① 解決への見通しをもって活動し、必要の場合は、計画を修正する。
	問題を追究する力.. 〔コミュニケーションを行う力..〕	② 活動に必要なものを考えることができる。	② いろいろな方法で集めた情報をもとに、より良い方法で解決する。	② いくつかの資料を吟味し、読み取った内容から自分の考えをもち、解決する。
まとめる..	分かりやすく表現する力.. 〔多面的・総合的に考える力..〕	① 活動したことをみんなに分かるように発表する。	① 調べたり、活動したりして考えたことを工夫して発表する。	① 自分の意見が相手に伝わるように、効果的な方法で発表する。
	振り返る力.. 〔批判的に思考判断する力..〕	① 自分の工夫したことや頑張ったことが分かる。 ② 友達の良い所に気づく。	① 自分や友だちの学習活動を振り返り、成長したことに気づく。	① 自分や友だちの学習活動を自分なりの視点をもって振り返り、改善点を考える。
つたえ合う..	実生活に活かす力.. 〔未来像を予測して計画を立てる力.. コミュニケーションを行う力..〕	① 友だちや先生と立てた計画をもとに自分の役割を責任を持って行う。 ② 学んだことをもとに、自分の生活を振り返り、何ができるかみんなで考えることができる。	① 友だちと話し合い立てためあてに向かって、自分の役割を考え、計画的に実行する。 ② 学んだことをもとに、自分の生活を振り返り、何ができるか自分で考えることができる。	① 友だちと話し合い立てためあてに向かって、グループの役割を考え、メンバーと協力し、計画的に実行する。 ② 学んだことをもとに、自分の生活を振り返り、より良い生き方を考える。

6、実践データの共有

(年度ごと、その中に学年毎のフォルダを作成)

ネットワーク > konas101 > 八名川小学校\$ > 職員室 > F.校内研究 > 平成23年度 ESD >

整理 表示

お気に入りリンク

- ドキュメント
- ピクチャ
- ミュージック
- 最近の変更
- 検索
- パブリック

名前

- 03八名川New! ESDカレンダー
- 1年の実践資料
- 23八名川まつり
- 2年の実践資料
- 3年の実践資料
- 4年の実践資料
- 5年の実践資料
- 5年研究授業写真
- 6年の実践資料
- A3印刷用3~6年ESDカレンダー
- ESDカレンダー英語版ジュリア・ジョー
- ESDカレンダー(各学年)ここだよ!
- ユネスコからのCD資料ロゴなど在中
- ユネスコスクール活動報告書
- 円卓会議資料(6年江戸・深川の歴史を語
- 韓国プレゼン 黄地
- 紀要原稿
- 江東区区内用・生活総合指導計画枠
- 講師の先生の資料
- 児童アンケート
- 実践報告会
- 手島修正版全学年New! ESDカレンダー
- 深川1中ESD
- 生活・総合ESDカレンダー等作成用枠な
- 生活科・総合(各学年)指導計画ここは

更新日時

種類

サイズ

整理 表示

お気に入りリンク

- ドキュメント
- ピクチャ
- ミュージック
- 最近の変更
- 検索
- パブリック

名前

- ワークシート
- 町探検の写真
- 本時授業・教材
- 2年生の全校朝会発表
- ESDカレンダー2年生
- お店に渡す封筒
- お店へのアンケート
- お店への依頼書
- お店情報(協力店一覧)
- 学習後の感想・お店向け
- 学習後の感想・お店向け
- 学習指導案
- 指導計画
- 児童用(発表台本)
- 総合指導計画
- 町探検諸注意・グループ表
- 保護者へのアンケート

更新日時

種類

サイズ

21 個の項目

オフラインの状態: オンライン

名前	更新日時	種類	サイズ
ワークシート	2012/06/12 7:30	ファイル フォルダ	
町探検の写真	2011/08/24 10:03	ファイル フォルダ	
本時授業・教材	2012/04/26 18:24	ファイル フォルダ	
2年生の全校朝会発表	2011/07/02 13:37	Microsoft Office Po...	8,157 KB
ESDカレンダー2年生	2011/05/16 15:49	Microsoft Office Ex...	159 KB
お店に渡す封筒	2011/06/09 16:25	一太郎 文書	21 KB
お店へのアンケート	2011/06/05 18:10	一太郎 文書	23 KB
お店への依頼書	2011/06/08 15:51	一太郎 文書	21 KB
お店情報(協力店一覧)	2011/06/10 20:54	一太郎 文書	27 KB
学習後の感想・お店向け	2011/08/01 13:59	一太郎 文書 バック...	46 KB
学習後の感想・お店向け	2011/08/01 14:18	一太郎 文書	46 KB
学習指導案	2011/06/14 18:40	Microsoft Office W...	57 KB
指導計画	2011/06/19 15:25	Microsoft Office W...	68 KB
児童用(発表台本)	2011/06/19 13:56	一太郎 文書	36 KB
総合指導計画	2012/02/01 16:30	Microsoft Office W...	24 KB
町探検諸注意・グループ表	2011/06/12 9:14	一太郎 文書	43 KB
保護者へのアンケート	2011/06/05 16:46	一太郎 文書	26 KB

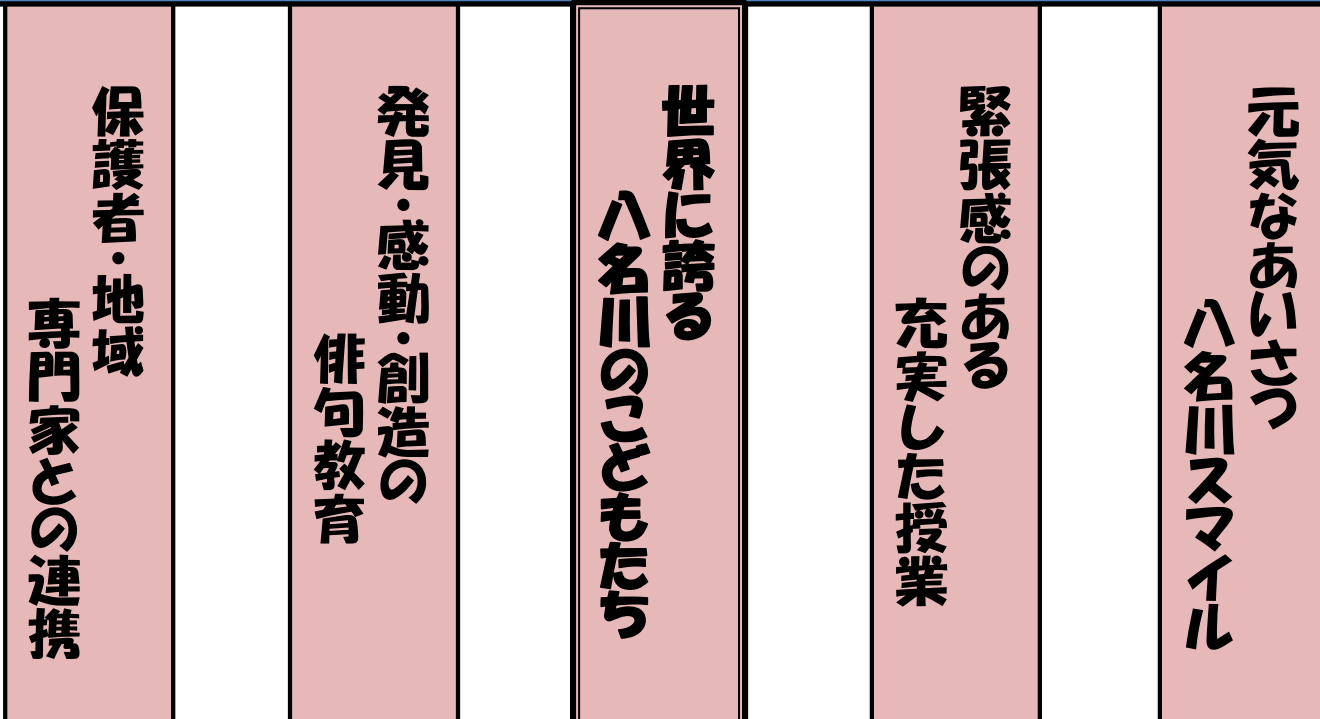
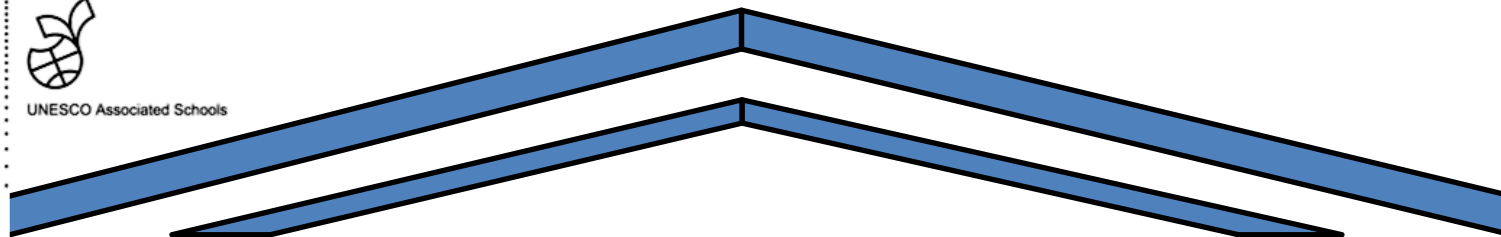
7、保護者の理解が学校を変える (教育方針の説明)

- ・慎重に、いつ、どこから、どのように説明したら理解や協力が得られるだろうか。**
- ・八名川小学校では、本格的な説明は着任3年目の新年度保護者会から。**
- ・保護者の[理解しよう協力しよう]という姿勢も生まれます。**



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

UNESCO Associated Schools



ユネスコスクールとして、地域の明るい未来を育てます！

八名川小学校の児童の豊かな学びを支えるネットワーク

月曜日～金曜日

土曜日

日曜日

授業時間

【八名川小学校】



手島校長先生

- ・児童委員会活動
- ・各クラブ活動
- ・吹奏楽部

【PTA 本部】



長谷川 PTA 会長

- ・運営委員会
- ・広報部／児童文化部／校外安全部
- ・ホームページ委員会
- ・バレーボール等の PTA 運動部
- ・みどり、図書、読み聞かせ、お花や芝生等の各種ボランティア活動

【ウィークエンドスクール】



津野事務局長

- ・11 講座運営
- ・申込み受付
- ・WES 祭開催

放課後

【げんきっず】

白幡先生



- ・自習／色鉛筆・そろばん
- ・アートフラワー・墨絵
- ・習字・理科工作等の各講座

【やながわファミリー】

(八名川校友会)

白川会長



- ・カレンダーや新聞の発行
- ・お花の会等の各種ボランティア活動
- ・八名川の昔を語る会等の各種講座

町会・同窓会・地域関係機関

八名川小の学びを創る

本校の職員は今年度も「確かな学びを豊かな探究に！生活科・総合的な学習の時間で創る楽しい授業」～地域に根ざしたユネスコスクールの実現～をテーマに掲げ、研究・研修を進めます。

先日ご案内しましたとおり、毎月行う研究会は公開しておりますのでお気軽にご参加ください。保護者や地域の皆様と一緒に八名川小学校の学びを創っていけたら素敵だなと思っております。ユネスコスクール関係者やESDの研究者、企業やNPO関係者等のご参加があるかも知れませんが、様々な方とともに学ぶ中で、子どもたちのために充実した教育を進めたいと考えますのでご理解ください。

5月24日(木)午後2時30分～4時 には目白大学副学長・多田孝志先生のご講演をもとに「子どもの学びに火をつける授業づくり」について考えたいと思います。

演題 「子どもの学びに火をつける授業づくり」

6月26日(火)5年、7月10日(火)6年、9月20日(木)4年、10月31日(水)3年、11月12日(月)1年、12月10日(月)2年 の各回は授業研究会で、午後1時30分から4時の予定です。1月22日(火)午前には八名川まつり、2月27日(水)2時30分～ には全学年からの実践報告会も予定しております。

子どもたちの 生きる力を育てたい

ユネスコスクール のことをもっと知ろう

本校がユネスコスクールに認定されて2年目となりました。保護者の多くが、この取り組みを「良い教育」と受け止めている一方で、「どんな授業がユネスコ?」「メリットは何?」という疑問をおもちの方もいるようです。そこで広報部では、実際の授業の取材などを通して、少しでもユネスコを理解すると共に「保護者ができることは何だろうか?」ということを探ってみました。

今さらだけど...

なんだか難しそう...

どんな風に
いいの?英語学習でも
なさそうだし...

ユネスコスクールとは?

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現するため、昭和28(1953)年に創設された

- ① 地球規模の問題に対する国際システムの理解
- ② 人権、民主主義の理解を促進
- ③ 異文化理解(国際理解教育)
- ④ 環境教育

などのテーマについて質の高い教育を実践する学校です。

●現在の加盟校(2012年7月現在)

世界:180カ国 9,000校以上

日本:459校(小・中学校を中心に、幼稚園から大学まで加盟)



授業を担当した6年生の先生方にお話を伺いました



6-1 稲井 先生

地域の歴史を自ら調べる活動を通して、地域に対し、より愛着をもつことができました。また、たくさんのお話を聞いて効果的に発表できたことも収穫です。



6-2 村中 裕佳 先生

子どもたちの行動力には驚かされました。歴史を守りながら友達や地域の人々と関わり合い、この町とともに生きていく大切さを実感できたと思います。

どんな授業が行われているの? 6年生の「総合的な学習の時間」に密着取材!

『江戸・八名川の歴史王になろう』 この授業のねらいと流れ

★問題に気付かせる

地域在住の時代小説家・牧秀彦先生や地域の方のお話、NHKのテレビ番組「プラタモリ」観賞をきっかけに地域の歴史に目を向ける。

★学びに火をつける!

家に帰って保護者に小名木川クイズを出してみたら、不正解続出!「なんで知らないの?」⇒「もっと自分で調べて伝えたい!」

★テーマを決める ★計画する

★調べる ★まとめる・練習直す
グループごとにテーマを決め、江戸資料館に行くなどして調査。お互いに発表し合い意見交換。内容を整理し伝わりやすい発表の仕方を探る。

★発表させて伝え合う!

5年生や保護者に向かってプレゼンテーション。わかりやすく伝えることができるかな。

先生方は授業とは別に、指導方法などの研究会も行っていたのよ。学校全体で熱心に取り組んでいるのね!



ユネスコスクールには4つのテーマがあります(※右上参照)。それに取り組むためには、単に国語や社会などの「一つ一つの教科」を学ぶだけでなく、それぞれの教科の学びをつなぎ、その関連性を重視した「教科横断的」な授業が大切になるそうです。もともと「総合的な学習の時間」は教科横断的な学習ですが、これをユネスコの視点でさらに深めた内容にしています。

授業内容 江戸の「くらし」「流通」「身分制度」など

子どもたちは自分たちが住む地域の歴史を探ることで、「過去と現在」のつながりを知り、「未来をどうするか」を考えました。また、江戸のくらし方からエコを学び、身分制度から人権の問題にも思いを巡らせていました。

教えて!校長先生

お答えしましょう!

平島 利夫
校長先生

Q ユネスコスクールとはどんな学校なのですか?

A ユネスコスクールは主に「ESD(持続発展教育)」という視点のもとに質の高い教育を行う学校です。平島 利夫 校長先生
本校はこれまでも環境教育、人権教育、地域に根差した俳句教育などに取り組んできました。それをESDという視点からまとめ、結びつけることで、カリキュラムの方針を明確にできます。本校を世界に通用する学校にしたいという考えから加盟しました。

Q 加盟すると、どんなメリットがあるのですか?

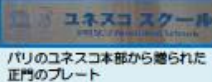
A ・世界中の加盟校のスクールと国際交流の機会が増えます。
・ESD関連の教材や情報などのサポートを受けられます。
・八名川が実践してきた教育を明確なカリキュラムにして、取り組み、成果を発信することができます。

Q 児童はこれで学力が上がるのですか?

A これからは、受験競争に向けた知識・理解中心の学力だけではなく、「持続可能な社会」を創るための資質や能力が必要です。ESDでは、問題解決能力・創造的なコミュニケーション能力、そして健康や体力も含めて、「強い時代を生きぬく力」が育ちます。もちろん、この教育は私自身のこだわりだけではなく、ユネスコの教育理念(ESDの視点)は、新しい学習指導要領にも加えられたもののなのです。

Q 日本の最先端の教育をひびいているのですか?

A そうです。この取り組みが、ユネスコスクール
未来を作る子どもたちの大きな力になると信じ、全職員で協力しあって実践しています。



八名川まつりにもユネスコが!?

自分たちで考え、まとめて、発表する体験が豊かに!

毎年後期に行われる八名川まつりも昨年からユネスコの考えを活かした内容になりました。
※写真はすべて昨年までのものです

1年生 『日本の遊びと世界の遊び』

グループごとに多彩な遊びを紹介。保護者に世界の遊びについて聞くことからスタート。



3年生 『私たちのまちに残るおまつり』

深川神明宮の祭礼や、さくらまつりの歴史を調べ、自分たちの地域への理解を深めました。



4年生 『バリアフリーを考えよう』

体の不自由な人の生活について学び、バリアフリーを体験するコーナーを作成。



うちの子は今年
どんなテーマに
取り組むのかな?
楽しみだわ!!

保護者がサポートできることは?

研究会の見学もできます!

ユネスコスクールになって、「世界の中のわが町・八名川」について調べる機会が増えていきます。子どもたちが協同で学び合い、地域のことを知ろうとする授業を見て、保護者同士も互いに信頼し合っていくこと、地域の一員として誇りをもち、学校や地域の活動をしていくことが大切なサポートだと実感。そして、「ユネスコ」や「世界」は遠くにあるのではなく、世界の中に八名川があって、子どもたち一人ひとりと世界はつながっているという視点をもつことが大切だと思いました。

★ 今秋行われる予定の授業研究会など

- 10月31日(水) 3年授業研究会
- 11月12日(月) 1年授業研究会
- 12月18日(火) 2年授業研究会
- 1月22日(火) 全校 八名川まつり
- 2月27日(水) 全学年 実践報告会

ユネスコスクールのこと、ちょっと分かってきた気がする!授業のどこにユネスコの視点があるのか、興味が出てきたわ!次の授業研究会のテーマ、子どもと話し合ってみようかな?



8. 校内の実践交流から地域の交流へ

・相互交流が校内を活性化します

- **児童からの発信・・・八名川まつり
1月22日(火)9:30～11:30**
- **職員からの発信・・・ESDパワーアップ交流会
2月27日(水)2:00～4:30**

保護者・地域・ユネスコスクール関係各位



江東区立八名川小学校長 手島利夫

「八名川まつり」公開のご案内（1次）

平成25年1月22日（火）『世界を学び 身近にいかそう 八名川まつり（仮）』をテーマに、全校児童による八名川まつり（E S D実践交流会）を開催いたします。

今年も校内だけでなく幼稚園・保育園からの参観も含め、保護者や地域にも向けて児童が発信する場を創ることにしました。保護者・地域の方々の他、E S Dの実践・推進に興味のある方でしたら、研究者でも学生さんでも関係機関の方々でもご参観いただけます。お気軽においでください。

※ 発表ブースへの参加については、児童優先ですのでご協力ください。

日 時：1月22日（火）午前9時20分～11時20分（予定）

場 所：本校各教室等及び体育館

※昨年度の様子は以下のようなものでした。

1年「日本の遊びと
世界の遊び」



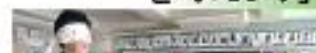
2年「ゆめが広がる
おもちゃランド」



3年「私たちの町に
残るおまつり」



4年「バリアフリー
を考えよう」



5年「食卓と環境」



6年「世界の国旗と
絶滅危惧種」



ユネスコスクール ESDパワーアップ交流会のご案内

主催：江東区立八名川小学校（江東区教育委員会 特色ある学校づくり支援事業）

後援〔申請中〕：日本ユネスコ国内委員会・ユネスコアジア文化センター・教育新聞社

集まろう！つながろう！ユネスコスクール

【日時】平成25年2月27日（水）14時00分～16時30分

【内容】 事例発表・講演

受付開始	開会挨拶 主旨説明	八名川小と各校からの事例発表・交流 <u>誰でも自分たちの実践を発表できます</u> (ブース形式による発表を予定)	講演 「次世代の教育を考える」 目白大学副学長 多田孝志先生
------	--------------	--	--------------------------------------

13:30 14:00 14:10

15:40

16:30

【講演】

「次世代の教育を考える」

目白大学副学長 多田孝志先生

いろいろな学校の実践事例が手に入る！
東京のユネスコスクール関係者が知り合える！
自分の実践が発表でき、意見をもらえる！
中学校も参加予定！小中一貫教育を祖厩に！



ユネスコスクールガイドライン

ユネスコスクールとして大切なこと

- 国内外のユネスコスクール相互間のネットワークを介して、互いに交流相手の良さを認め合い、学び合うこと。
- 地域の社会教育機関、NPO等との連携などを通じて、開かれたネットワークを築くよう努めること。
- 校内外における各種研修の充実・活用を図るなど、ユネスコスクールの活動を通じて広く学校外にも働きかけ、我々人類社会が持続的に発展するよう心がけること。
- 学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことを明確に示し、学校全体で組織的かつ継続的にユネスコスクールの活動に取り組みやすくすること。
- ユネスコスクールの活動を自らの学校評価の項目に盛り込み、活動の質の向上に努力すること。
- 必要に応じ、ASPUivNet6加盟大学をはじめとする高等教育機関の支援や協力を得ながら、ユネスコスクールの活動の充実に努めること。

ユネスコスクールガイドライン

持続発展教育推進拠点として大切なこと

- 持続発展教育(ESD)を通じて育てたい資質や能力を明確にし、自分で、あるいは協働して、問題を見出し解決を図っていく学習の過程を重視した教育課程を編成するよう努めること。
- 総合的な学習の時間を中心とした教科横断的な指導計画を立てるなど、指導内容を適切に定め、さらに、指導方法の工夫改善に努めること。
- 持続発展教育(ESD)の推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果を積極的に発信することを通じて、持続発展教育(ESD)の理念の普及に努めること。

平成24年度ユネスコパートナーシップ事業

ユネスコスクール地域交流会 in 多摩

校内体制 分科会

(学校全体で取り組む仕組みづくりについて)

ご静聴ありがとうございました。

**江東区立八名川小学校長
手島利夫**